

12 月 23 日 : 2022 年最終週は警戒か

先週のベトナム株は下落した。投資家はポートフォリオを再構築し、来年に備えている。この動きが今週のボラティリティに影響をもたらすと専門家達は予想している。

ホーチミン取引所の VN 指数は 1,020.34 ポイント (0.22%安)、ハノイ取引所の HNX 指数は 0.24%安の 205.3 ポイントで取引を終えた。

週間では、VN 指数は 3%以上の下落、HNX 指数は 3.6%安となった。

ホーチミン市場の売買代金は 1.8%減少し、69.8 兆ドンだった。一方、ハノイ市場は 9.5%減の 6.2 兆ドンとなった。

先週の調整で、多くのセクターが下落をした。

外国人投資家は 7 週連続の買い越し、1.3 兆ドンを買い越した。

MB 証券 (MBS) によると、2022 年の最終週であり、ファンドの動きが相場を支えると投資家は予想している。しかし、MBS は低い流動性が続き、横ばいの動きとなると予想している。投資家は、取引を控え、株への投資比率を低く保つべきだとアドバイスした。

ベトナム銀行証券 (VCBS) は、ベトナム国家銀行 (SBV) が製造業などのビジネスセクターの資金繰りに対して金利を引き下げようとして要請をしている。一方、投資、不動産といったセクターについては、リスクを厳しくコントロールするように動いていると語った。

しかしながら、諸外国の銀行が金利を引き上げる中で、このような動きが実行されるのにはもう少し時間が必要である。

一方、最近のポジティブなニュースとしては、為替市場の落ち着きが挙げられる。

そのため、VN 指数は低流動性の中で横ばいが続くだろう。反発し、明確なトレンドが出るまでは、セクターによってまちまちの動きとなるだろうと予想した。

一方、サイゴンハノイ証券は 1,000 ポイントを試す動きとなると予想している。

テクニカル的な反発は見られるが、売り圧力は強くなっている。

SHS は VN 指数が 1,000 ポイントを維持できれば、反発が期待できると予想する。一方、資金の流入は見られず、期待感は失われつつあるとコメントした。

中期的には、大きな下落トレンドの中での調整と反発と見ている。本格的な上昇トレンドに回復する前には、中期的な根固めをする必要があると同社は述べた。

そのため、同社は、狭いレンジで上下を繰り返すと予想する。根固めを終え、反発する場面が来れば、1,150 ポイントを目指すだろうと予想している。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。